

平成26・27年度
平塚市社会教育委員会議 報告書

社会教育における
子ども達の生きる力を育む方策について
～子どもの居場所づくりを考える～

平成28年3月

平塚市社会教育委員会議

目次

はじめに	・・・ P 1
1 研究調査 子どもの居場所づくりに繋がる活動の体系化について	
(1) 子どもの居場所づくりの意義	・・・ P 2
(2) 体系化のねらい	・・・ P 2
(3) 子どもの居場所づくりに繋がる活動について	・・・ P 2
(4) 体系化の試案	・・・ P 7
2 実践研究 子どもを核とした地域力向上	
(1) 地域コミュニティ（地域力）向上との相乗関係	・・・ P 8
(2) 横内地区の取り組み（横内マイタウンスクール）	・・・ P 9
(3) 八幡地区の取り組み（やわた子ども村）	・・・ P 11
3 まとめ より良い「子どもの居場所づくり」のために	・・・ P 13
おわりに	・・・ P 15
<資料>	
平成26・27年度平塚市社会教育委員会議 実績一覧	・・・ P 16
平成26・27年度平塚市社会教育委員会議 委員名簿	・・・ P 20
<巻末資料>	
「子ども達の生きる力を育むための居場所づくり」活動一覧	・・・ P 21

はじめに

この報告書は平成26・27年度の社会教育委員15名が2年間にわたり研究調査してきたものである。メンバーの構成としては、学校教育関係者3名、社会教育関係者6名、家庭教育関係者2名、学識経験者4名（うち公募市民2名）である。

これまでの8回の会議において、私たちは社会教育委員としての役割を学びつつ、「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策について」をテーマに協議を重ねてきた。

このテーマについては前期（24・25年度）の社会教育委員会会議でも取り上げ、提言をしてきた。その中で、子ども達の生きる力を育むためには、「人と地域のつながり」や活動の「創造性」、「継続性」、「発展性」が重要であること等について言及したり、そのための有効な方策を提示したりしてきた。しかしながら、「このテーマは非常に重要であるが広範囲に及び、2年間の限られた会議の話し合いでは、十分に検討できなかった」という声もあり、その思いを引き継ぎ同じテーマを掲げた。そして、具体的な切り口を子どもの居場所となる活動とした。

「放課後等の子どもの居場所づくり」は国や県で進める喫緊の課題である。平成27年度は平塚市においても「土曜日の教育支援体制等構築事業」が行われた。そこで、下記のような目標を掲げた。

1. 市内各地で実施されている、放課後等の子どもの居場所につながるような取り組みの体系化を図る。
2. 子どもの居場所づくり実践編として、すでに実績のある横内地区・八幡地区の取り組みについて実施内容を学び、考察して今後の指針とする。

今回の報告が、子ども達の生きる力を育む居場所づくりに、そして地域力の向上につながることを期待している。また、平塚市の社会教育行政の振興の一助となることを願っている。

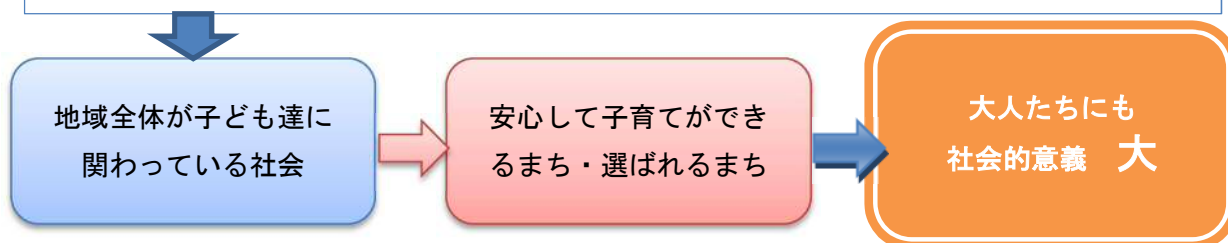
1 研究調査

子どもの居場所づくりに繋がる活動の体系化について

(1) 子どもの居場所づくりの意義

より良い子どもの居場所とは

- ポイント1.** その活動を軸に、幅広い（多世代・多様な）人材が協働・共助している
- ポイント2.** その活動が地域全体を巻き込んで、継続し発展している
- ポイント3.** その活動のために様々な社会資源を効果的に活用している
- ポイント4.** その活動で子ども達が様々な経験・知識を得る機会に恵まれている



(2) 体系化のねらい

平塚市における子ども達の生きる力を育むための取り組みは、市内各地区で活発に行われている。

それらを整理・分類・体系化することは、企画運営面からだけでなく、子育て世代や地域への情報提供や、住みよいまちづくりにとっても、今後有益なものと考えた。

(3) 子どもの居場所づくりに繋がる活動について

① 活動の抽出作業について

社会教育課を通じ、市や教育委員会、福祉村、地域等が実施している取り組みについて、(1)で述べた「より良い子どもの居場所」4つのポイントを踏まえながら、次のような条件でデータの収集を行った。

活動抽出条件

1. 平成26年度の実施事業であること
2. 小・中学生を対象としていること
3. 2回以上の複数回にわたって継続的に実施された、子どもの居場所に繋がる活動

59件が該当

次項では、該当した59件の中から、地域の様々な団体が関わっている継続的な取り組みとして特徴的な例を6つ紹介し、その内容を確認していきたい。

なお、今回の研究調査にあたっては条件を特定して抽出を行ったが、条件に当てはまらない類似の取り組みも市内には多く存在することを注記させていただく。

② 活動例の紹介

<活動例1：港スポーツクラブ>

	
内 容	バドミントンやバスケットボールなど、様々なスポーツ活動をする場の提供
活 動 時 間	月・水・金の放課後（通年） （土は幼児からシニアまで含めた一般対象）
人 材 ・ 担 手 （ 構 成 ）	港スポーツクラブ（自治会、体振、小・中学校 PTA、育成会）
場 所	港小学校グラウンド、体育館など
継 続 ・ 発 展	地域の各団体や学校関係者で構成する総合型スポーツクラブによる安定した運営・きめ細かい指導
考 察	地域の総合型スポーツクラブが主体となっていることから継続性が確保され、安定した居場所づくりが期待できる。

<活動例2：やわた子ども村>

	
内 容	卓球・バスケットボール・囲碁将棋などの放課後プログラム 長期休暇には船釣りやコンサートなど親子参加できる催しを開催
活 動 時 間	平日の放課後（通年）
人 材 ・ 担 手 （ 構 成 ）	やわた子ども村 （自治会、子ども会、商店会、PTAなど）
場 所	八幡小学校の余裕教室など
継 続 ・ 発 展	複数の団体が参画することによる柔軟な活動の継続
考 察	複数の団体が連携し、学校の余裕教室という社会資源を効果的に、かつ日常的に活用している。活動内容も文化的なものや体を動かすものでバランスが良く、今回のテーマの一つのモデルケース。

<活動例 3 : おもしろ理科教室>



内 容	子ども達の興味をひくような工作や実験を通して、理科の面白さを感じられる機会を創出する
活 動 時 間	夏休み・冬休み各 1 日 年間 2 日間
人 材 ・ 担 い 手 (構 成)	おもしろ理科実験教室開催委員会 (大学研究員、元電気関係技術者、元教員など)
場 所	中原公民館・中原小学校
継 続 ・ 発 展	多様な人材による委員会形式での柔軟な活動の継続 近年は中学校科学部も参加して交流が生まれ好評となっている
考 察	地域の人的資源として、退職した技術者や教員の協力を得て、効果的に活用していることが伺える。また、地元中学校の科学部も参加し、お互いにやりがいが高まり、小・中学生の人間関係を創出している点も特筆される。

<活動例 4 : 横内マイタウンスクール>



内 容	文化系・スポーツ系・ものづくり系のスクールを開催し、技術の向上、世代間交流、様々な体験と経験の場となる
活 動 時 間	土・日 (通年)
人 材 ・ 担 い 手 (構 成)	横内子どもサポートネットワーク協議会 (会員、各種団体OB、保護者、各種有資格者)
場 所	横内小学校、横内中学校、横内公民館、真土大塚山公園など
継 続 ・ 発 展	多様な人材が流動的に参画することによる活動の継続。大人の地域デビューを喚起しており将来的な担い手の育成も期待される。
考 察	各種団体の多世代による相互連携が組織化され、文化系、スポーツ系のスクールを開催し、学校の余裕教室などの資源活用、組織性と流動性の共存など参考となる点が多い。

<活動例5：エコミュージアム金目まるごと博物館共催子ども向け事業>

	
内 容	ホタルの観察などの自然や、地域の風土・文化の特色を学ぶ催しを通して、地域の自然や文化の魅力に触れさせて・自然の大切さや関心を持ってもらう
活 動 時 間	5月から11月頃まで催し内容に応じて不定期開催
人 材 ・ 担 手 (構 成)	エコミュージアム金目まるごと博物館（地域団体）、金目公民館
場 所	金目公民館、金目地区全体
継 続 ・ 発 展	エコミュージアム金目まるごと博物館運営委員会、ガイドボランティアの会などを組織化し、地域に密着した活動を継続
考 察	地元の地域に特化・密着した事業であり、金目地区でしか学べない体験を提供している。地域全体を社会資源と捉え地域の歴史・自然・文化を掘り起こし、地域の魅力に触れさせる。

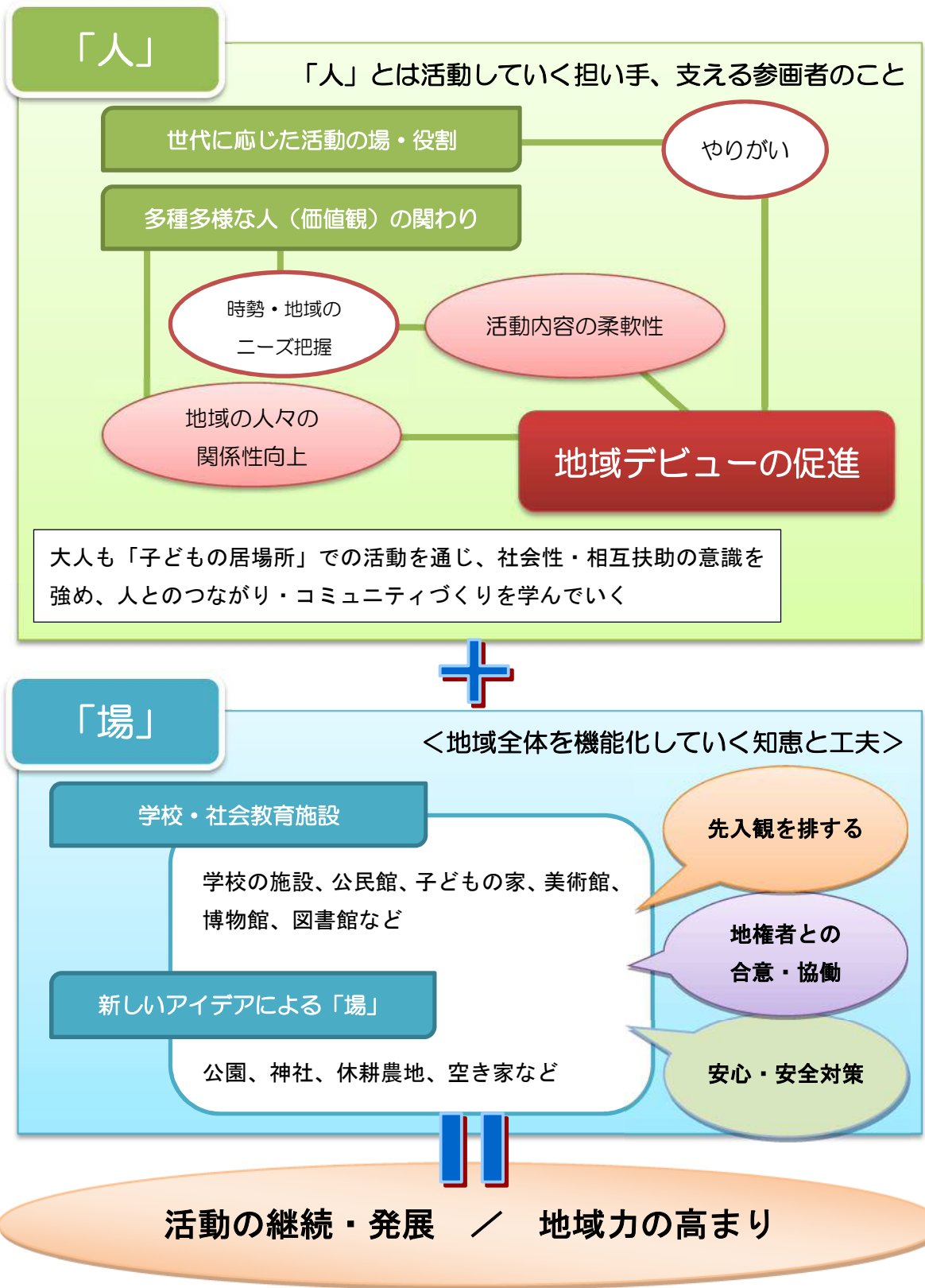
<活動例6：吉沢寺子屋>

	
内 容	地域にある大学の学生の協力による放課後等の学習支援とスポーツ活動 異世代交流や社会性の健全育成に対する仕組みづくりを行っている
活 動 時 間	第2月曜日の放課後・第4土曜日の午前中
人 材 ・ 担 手 (構 成)	神奈川大学の学生有志、福祉村、吉沢公民館 湘南NPOサポートセンターなど
場 所	吉沢公民館
継 続 ・ 発 展	複数の団体が参画することによる柔軟な活動の継続
考 察	近くにある大学の教育資源を地域力に活かすことに成功している。遊びと学びを交えた居場所づくりの工夫が伺える。

③ 活動例から見てきたもの・効果的な居場所づくりのポイント

紹介した6例以外にも、子ども達の生きる力を育む居場所・活動は多く存在しているが、中でも当該の6例は子ども達が地域の人々と繋がって育まれているという点に加え、**継続性**と**発展性**があるということが特筆すべきものであった。

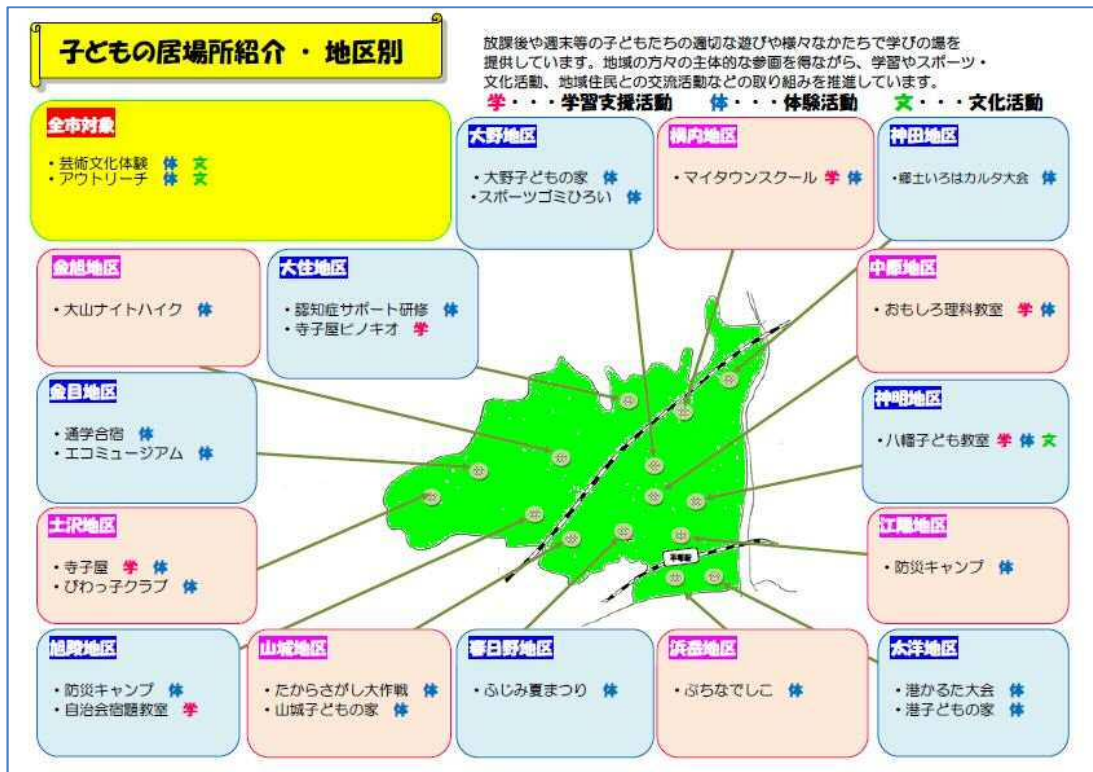
その継続性と発展性を達成していくためのポイントとして、私たちは下記のように「人」と「場」という大きな2つの観点に立ってみることにした。



(4) 体系化の試案

考察と同時に、収集した取り組みのデータを集約（＝データベース化）することで、インターネット等で手軽に情報検索ができるようになれば良いのではないかと考え、試案を作成した。詳細なものは巻末にまとめるが、イメージは次の通りである。

◆市内各中学校区の子供の居場所紹介・地域別一覧表



◆市内各中学校区の子どもの居場所づくり・生きる力を育むための活動一覧表

平塚市内子どもの居場所づくり・生きる力を育むための活動			
★活動別			
体験活動			
1. 青少年会館 主催事業（全市・青少年課）	2. びわっこクラブ（全市・青少年課）	4. 水辺の楽校（全市・その他）	5. 子ども向け教室（江島・公民館）
6. 防災キャンプ（江島・ネット）	7. 子ども卓球教室（港・公民館）	8. 羅士いろはカルタ大会（港・ネット）	9. 港スポーツクラブ（港・その他）
10. みなと子どもの家（港・青少年課）	11. 卓球教室（富士見・公民館）	12. 子ども囲碁教室（富士見・公民館）	14. ぶちなでしこ（浜岳・公民館）
15. 子ども囲碁教室（浜岳・公民館）	16. BONおどり大会（浜岳・公民館）	17. 子どもふれあい体験学習（神明・公民館）	18. 一日防災体験（神明・公民館）
19. わくわくクラブ（神明・公民館）	20. やわた子ども村（神明・その他）	21. おもしろ理科教室（中原・公民館）	22. 囲碁初心者講習会（中原・公民館）
23. 夏休み体験教室（中原・公民館）	24. 夏休み寺子屋（中原・公民館）	25. 子どもの楽校（中原・公民館）	26. 夏休み子ども教室（中原・公民館）
27. 子ども囲碁教室（中原・公民館）	28. 大原てづくりごっこ（中原・公民館）	29. 羅士子どもチャレンジスクール（大野・公民館）	30. サマースクール（大野・公民館）
31. こども囲碁教室（大野・公民館）	32. 夏休みわんぱく教室（大野・公民館）	33. とよだチャレンジファーム（大野・公民館）	34. 大野子どもの家（大野・その他）
35. ゆうゆう字書き・物づくり教室（大野・その他）	36. 夏休み子どもチャレンジ（神田・公民館）	37. 芸術文化子ども体験教室（おやすみ）（横内・公民館、ネット）	38. 芸術文化子ども体験教室（おやすみ）（横内・公民館、ネット）
39. ふれあいキャンプ（横内・ネット）	40. マイタウンスクール（横内・その他）	41. 横内子どもの家（横内・青少年課）	42. サマー教室（おやすみ・公民館）
43. 岡崎福祉村ビノキオ（おやすみ・その他）	44. 夏休み子ども囲碁教室（金目・公民館）	45. 子ども向け事業（金目・公民館、その他）	46. こどもひろば（金目・ネット）
47. ナイトワーク（金目・ネット）	48. 通学合宿（金目・ネット）	49. 遊びの楽校（金旭・公民館）	50. 子どもチャレンジ講座（金旭・公民館）
51. 大山ナイトハイク（金旭・ネット）	52. 菊づくり（土沢・公民館）	53. 夏休み子ども教室（土沢・公民館）	54. 吉沢に泊まろう！（土沢・公民館）
55. 吉沢寺子屋（土沢・その他）	56. 夏休みの教室（山城・公民館）	57. 山城子どもの家（山城・その他）	58. 防災避難一時キャンプ（旭陽・ネット）
59. 公所自治会子ども育成部			
学習支援活動			
3. 自主学習教室（全市・教育指導課）	13. オアシスなでしこ（浜岳・公民館）	21. おもしろ理科教室（中原・公民館）	43. 岡崎福祉村ビノキオ（おやすみ・その他）
45. 子ども向け事業（金目・公民館、その他）	55. 吉沢寺子屋（土沢・その他）	59. 公所自治会子ども育成部	
居場所			
2. びわっこクラブ（全市・その他）	4. 水辺の楽校（全市・その他）	9. 港スポーツクラブ（港・その他）	10. みなと子どもの家（港・その他）
20. やわた子ども村（神明・その他）	34. 大野子どもの家（大野・その他）	35. ゆうゆう字書き・物づくり教室（大野・その他）	40. マイタウンスクール（横内・その他）
41. 横内子どもの家（横内・その他）	43. 岡崎福祉村ビノキオ（おやすみ・その他）	45. 子ども向け事業（金目・公民館、その他）	55. 吉沢寺子屋（土沢・その他）
57. 山城子どもの家（山城・その他）			

2 実践研究

子どもを核とした地域力向上

(1) 地域コミュニティ（地域力）向上との相乗関係

効果的な「子どもの居場所づくり」のためには地域の「人」と「場」が大いに活躍していることが望まれる。このことから想起されるのは**健全で活性化された地域コミュニティ**の姿である。

平塚市は「選ばれるまち」となるべく様々な施策に取り組んでいるが、優れた地域コミュニティを備えていることは、安心安全な子育てができることにつながる。つまり、「住みたいまち 住み続けたいまち」となるには、優れた地域コミュニティを構築していくことが重要と考える。

孤立社会・無縁社会化が進む現代社会において、子どもの居場所・子ども達の生きる力を育むための活動は、単に子ども達のためだけでなく地域社会・現役世代の大人達にとっても、大きな社会的意義がある活動となる。

今期のテーマは「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」となっているが、視点を子どもの居場所づくりだけに限定してしまうことなく、子どもの居場所づくりを通して、地域社会の在り様まで広げていくことが必要なのではないかと。

子どもから高齢者まで、それぞれが互いに関わり合う役割を担っていること、それが地域コミュニティの支柱であり、これからの社会教育が目指す一つの理想ではないかと思われる。

次項では、このような考えに基づいた効果的と思われる事例の中から特に横内地区の「横内マイタウンスクール」、八幡地区の「やわた子ども村」の2つをピックアップして、その詳細な活動内容や運営体制、活動のポイントを確認する。

そして、「子どもの居場所づくり」と「地域コミュニティの活力（地域力）の向上」の相乗関係について論考していきたい。

(2) 横内地区の取り組み（横内マイタウンスクール）

<横内マイタウンスクールの取り組み>

① 主旨

安心して子育てのできる環境づくり(子どもの居場所づくり)を基軸に、高齢世代はじめ多世代が協働、共助の精神で、わが町を元気にする活動や場づくりに参画し、「住み続けたいまち」、「選ばれるまち」づくりに貢献していく。

- ・様々な体験学習を通じて生きる力を身につける「学びの場」
- ・お父さんの地域デビューのきっかけづくりをし、担い手、参画者を増やす
- ・地域の人達がサポーターになって一緒に学ぶサークル形式の自主運営
- ・施設、空間ストックの活用（空き家・余裕教室、遊休施設・土地、公園）

② 設立経緯

平成12年度： 地域活動体験ツアー開始（和太鼓・手話・和菓子づくり）

平成13年度： 小学校、中学校、関係団体と基本合意

→週5日制完全移行に対応し、関係団体との連携強化

→世代間交流、総合学習への協力

→小学校の体育館、特別教室の開放協力、地域施設の利用

平成14年4月： 「横内マイタウンスクール」スタート

③ 運営体制

<担い手>

役割	人数	構成
マネージャー (コーディネーター)	約10名	サポネット会員、OB、青少年指導員 (企画力・調整推進力の育成の研修)
サークル指導者 (インストラクター)	約10名	横内在住の各有資格者、教員OB、大学生、文化連盟加入者のボランティア協力など
サポーター	約100名	青少年健全育成関連各種団体OB、保護者など (親子参加を通じた保護者の勧誘) *保護者（特に父親）の地域デビュー ・お助けパパ、マイタウンサポーター懇親会への勧誘 *シニア世代の地域デビュー セカンドライフ講座、シニアイベント ラジオ体操（毎朝、御霊神社境内）

<運営資金>

- ・「地域教育力ネットワーク協議会」、「自治会」の活動支援費

④ 地域教育力／社会教育力としての論点

＜子ども達の成長、社会教育デビューに対応した市民力・地域力を育む＞

☆自主性、自律性から社会性・市民性を高める

幼稚園	地域デビュー	先生に出会う
小学生	マイタウンスクールデビュー	地域の人と出会う
中学生	マイタウンスクールサポーターデビュー	地域の人と協力しあう
高校生	地域外デビュー	育った地域としての横内の再認識
家庭人	子育てデビュー	子育てしたい横内と思える地域づくり

(世代に応じたステップモデル)

☆保護者自身の成長、社会性を磨く・高める

- ・母親力／父親力の向上⇒地域社会を支える担い手としての地域力・市民力
- ・子ども達のシグナル、SOSを地域で見守る、気づく地域力・市民力（未然防止）

＜地域の「活かせる人材」、「活かせる空間」の拡大＞

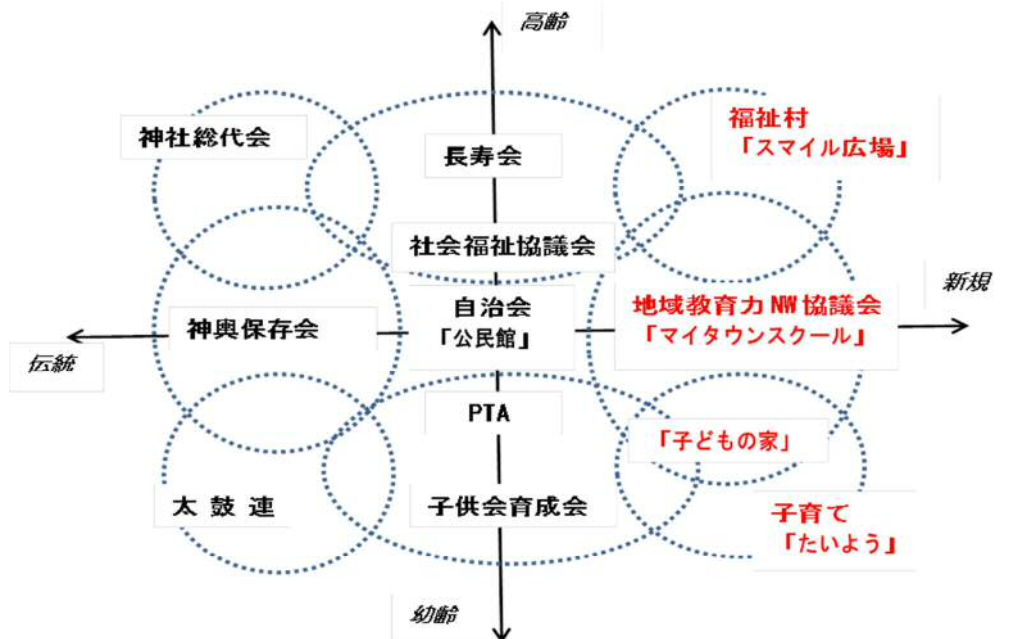
☆大人の地域デビューの場（活かせる人材）

資格や技術を持ったOB世代や、趣味を活かしたい人が活躍できる場として

☆活動の場所・施設の再発見と活用・地域管理（活かせる空間）

余裕教室、休耕地、公園、神社などの社会資源

地域まちづくりに関わる活動・場（横内地区）



(3) 八幡地区の取り組み（やわた子ども村）

<やわた子ども村の取り組み>

① 主旨

- ・地域で暮らす全ての人々が、心身共に健康な体を維持できる環境づくり
- ・大人と大人、子どもと大人が“集い学べる”居場所づくり

② 設立経緯

平成16年度： 八幡地区には放課後児童クラブが無かったが、「地域の中で子ども達を見守ることが必要ではないか」という機運が高まり、学校・地域諸団体・保護者等での話し合いが始まる。

平成17年度： 「やわた子ども村」スタート

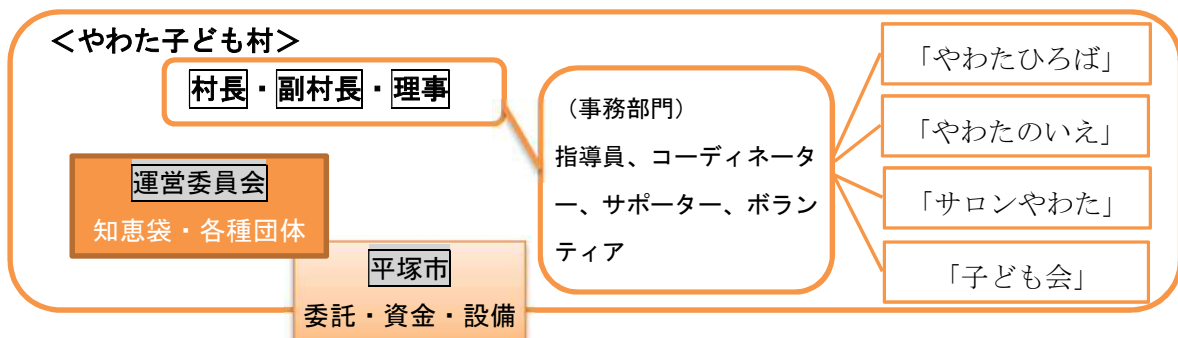
③ 運営体制

<担い手>

役割	人数	構成
「やわたのいえ」 (放課後児童クラブ)	6名	学童の職員
「やわたひろば」 (放課後子ども教室)	25人	地域指導員 八幡在住の各種目有資格者、社会福祉協議会、元PTA役員など
「サロンやわた」 (ふれあい支援事業)	約10名	コーディネーター、ボランティア、町内福祉村役員
「子ども会」 (地域子ども育成事業)	6名	役員・理事・保護者

<運営資金>

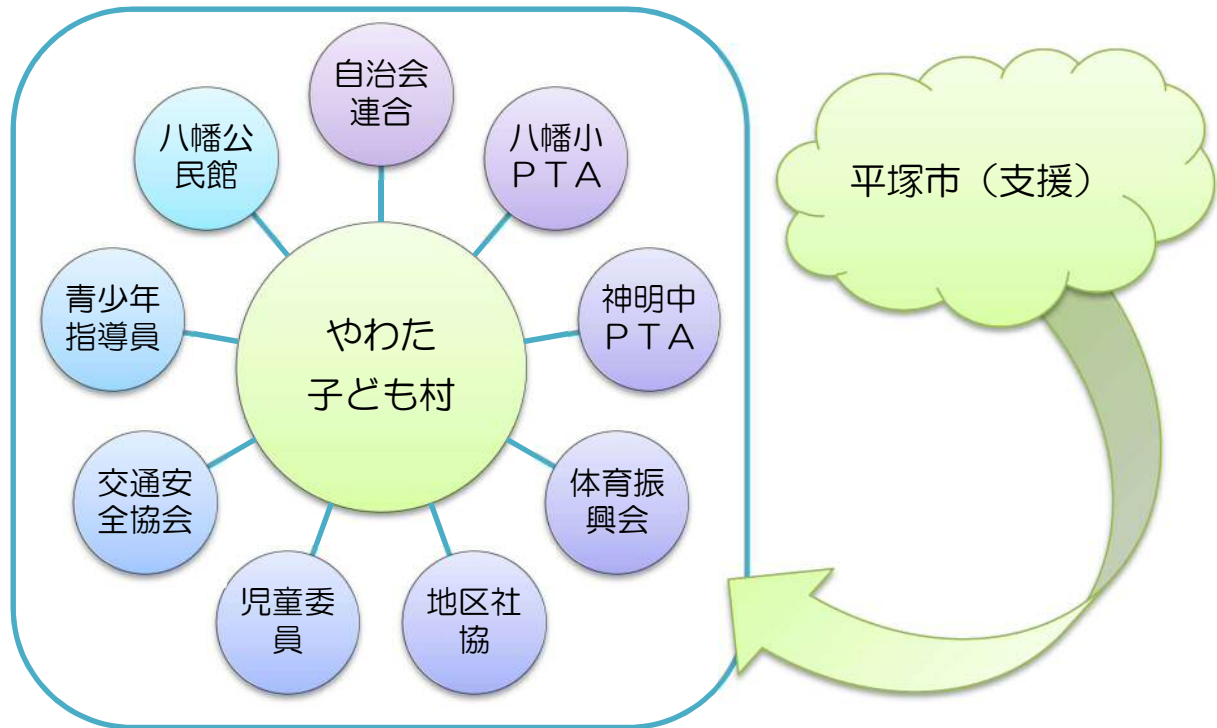
- ・「利用者」が納める年会費
- ・「平塚市」からの委託料



④ 地域教育力／社会教育力としての論点

<ゆるやかな支援体制が継続の秘訣>

☆未来を担う子ども達の育ちを地域全体で支える⇒次世代へと繋がる地域づくり



「やわた子ども村」を通して学んだこと

「人・もの・こと」

地域資源の活用

「要は『人』」

人的ネットワークの活用

「事務局は重要」

合意形成の場づくり

「課題を明確に」

できること・できないことの整理

3 まとめ ～より良い「子どもの居場所づくり」のために～

これまで平塚市における子ども達の生きる力を育み居場所となるような活動事例について見てきた。そして、既に、青少年の健全育成に関わる諸団体・組織（子供会育成会、青少年指導員、地域教育力ネットワーク協議会等）を中心に、各地域で多くの取り組みがなされていることを実感した。

この報告書の研究調査を踏まえた実践研究から見て取ることができるのは「組織力」である。

今回紹介した事例では、地域の諸団体・組織が連携して新たな仕組みづくりをし、世代を超えた関係者が、目的意識を共有しつつ、コーディネーター（企画）、マネージャー（運営）、プレイヤー（実践）といった役割を分担しながら取り組んでいる。その結果、斬新でユニークな企画と実効性・持続性のある活動が展開されている。

このことは、「子どもの居場所づくり」を通して、「組織」、「世代」、「役回り」といった「協働」のために必要な3つの力の繋がりを再構築し、これまでの仕組みにとらわれない新しい地域コミュニティに変えていくことでもあると思われる。

組織力といってもただ形式化されたものではない。地域の人と人・団体と団体が共通した“思い・価値”で繋がるという関係性ができることで地域力が向上し、事業が円滑に実施できるような組織のことである。組織は外枠を作るだけでなく、内側で実際に動く人材の活性化も図られなければ、形骸化された活動に終始してしまう。「横内マイタウンスクール」や「やわた子ども村」の実践を見ても、中核となる大人達が活動の“思い・価値”を明確にし、組織全体、子ども達、地域等を巻き込んだ活動にしようと取り組んでいる。

もし、“思い・価値”が共有されないまま活動が展開されたならば、成果（やり甲斐）に繋がりにくく、組織のモチベーションの維持や充実感も得難くなってしまふことが懸念される。

大人が、「子どもの居場所づくり」についての社会教育的な意義・観点に立って、しっかりしたビジョンを構築し、継続的・発展的な活動を推進していくことが肝要である。大人に対しての啓発が充足することが、より良い「子どもの居場所づくり」、ひいては「地域力向上」に重要な役割を果たすと考えられる。

理想的な地域コミュニティによる「子どもの居場所づくり」は一朝一夕に醸成できるものではないが、「子どもの居場所づくり」のブレない想いを地域の大人達が共有することで、確実な歩みが期待できるのではないだろうか。

結束するために必要なのが「思い」（意味や価値）であるならば、より多くの人がある「思い」を共有し、次々と参加できる「場」を用意・整備していくことで、地域の人々の繋がりは強くなり、地域力を一段と高めることが期待できる。

これからの社会教育行政においても、横内や八幡地区の組織的な取り組みを、各地区にこれまで以上に積極的に紹介していただきたい。そして、各地域に、大いに参考にして地域の子どもの居場所について熟考し、地域づくりに役立てていただきたい。また、多くの活動事例をデータベース化し、積極的な情報提供をして有効に活用されるようお願いしている。

（社会教育委員による2つの実践研究への所感）

「情報提供と共に情報共有が重要となる」

「横内で顕著なように、活動のノウハウを整理することが大切」

「地域間の横のつながりがあれば、他地区の取り組みがよく把握できるようになる」

「地域の差を埋めるよりも、地域ごとの特色を活かす」

「行事に来ない子やその親に対して、どうアプローチしていくかを考える必要がある」

「子ども達は大人によって用意され提供される機会に慣れてしまわないか」

「大人が頑張って学んでいくことが大切と感じた」

「自分の地域を知ること。他地域の取り組みを知ることが必要」

「企画の段階から子どもも巻き込んでいくと、参加意欲が高まり良いと感じた」

おわりに

「子ども達の生きる力を育むための居場所づくり」を大きなテーマとして研究調査を行ってきたわけだが、最終的にはそれは子どものためだけでなく、将来に向けた地域社会の更なる進歩に繋がっているという感触を得るに至った。

社会教育委員会議はその名前のおり社会教育について協議をする場であるが、一口に社会教育と言ってもその間口は非常に広い。今回は子ども、特に小・中学生年代を中心に議論を重ねてきたが、中学生・高校生・そして報告の最後でも触れたとおり大人に対する社会教育も無視することはできない。高齢者に関する問題に至るまで、およそ社会に起因する問題は社会教育の観点から論ずるテーマとして扱えるものである。

それだけ広範囲に及ぶ分野でありながら、社会教育について常に意識して生活している人というのは多くは無いのも事実だ。扱う範囲が広いことで具体的なイメージが人それぞれに異なってしまう、分かりづらいたとも言える。それ故に社会教育について「生涯学習」との混同や、不要論も出てきてしまうのが現状である。

現代社会が抱える歪みとして、孤立社会・無縁社会が大きな社会問題となっている。老人の孤独死、家庭での子どもへの虐待、学校でのいじめ、面識のない人とのネット交際等々、地域社会の中での人間の結びつきは、益々弱体化へと進もうとしている。

「遠くの親せきより、近くの他人」という諺があるように、地縁社会を重視した生活づくりが、人間の生活を豊かにしていくことは、自明のことと考える。そこに住む人が主体となって当事者意識を持ち、自分たちにとってどのような地域コミュニティを創造していくことが、幸せな地域社会になっていくのか、皆で知恵を出して行動していかなければならない時代を迎えている。

実際、当会議においても「社会教育とは」という根本的なテーマ・今の時代における在り方について、改めて問い直していくことも必要があるのではないかという声も出された。

この2年間の協議を通して、社会教育の使命や価値・意義を再認識してきた。社会教育が豊かな地域コミュニティの形成と遊離してはいけないことも共有した。

このように考えると、これからの「まちづくり市政」に、社会教育行政を大きな柱に据えていただけることを期待したい。

平成26・27年度平塚市社会教育委員会議

議長 長本貞光

平成26・27年度 平塚市社会教育委員会議 実績一覧

《全体会議》

会議名	日 時	会 場	内 容
第1回 会議	平成26年 6月2日(月) 15時	中央公民館 大会議室	1 自己紹介 2 社会教育委員の職務等について 3 議長及び副議長の選出について 4 議事 (1) 社会教育部の概要について ①教育委員会の組織と平成26年度教育の方針 ②平成26年度社会教育部各課の予算と所管事業の概要 ③平成26年度社会教育関係団体等への補助金の交付予定 (2) 今後の協議の進め方について ①協議テーマについて ②第3次子ども読書活動推進計画の策定について (3) 神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について
第2回 会議	平成26年 8月26日(火) 15時	中央公民館 大会議室	1 議事 (1) 協議テーマについて (2) 神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について ①研修会の報告 ②関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会への参加について (3) 平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)について
第3回 会議	平成26年 11月11日 (火) 15時	中央公民館 大会議室	1 議事 (1) 平塚市教育振興基本計画(後期実施計画)の策定について (2) 平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)について (3) 協議テーマ「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」について (4) 関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会への参加について
第4回 会議	平成27年 2月17日(火) 15時	中央公民館 大会議室	1 議事 (1) 協議テーマ「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」について (2) 地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業について

第5回 会議	平成27年 5月12日(火) 15時	豊原分庁舎 1号館 1階会議室	1 議事 (1) 平成27年度社会教育関係事業について ・社会教育課の予算と所管事業の概要 ・中央公民館の予算と所管事業の概要 ・社会教育関係団体等への補助金の交付予定 (2) 協議テーマ「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」について (3) 平成24・25年度提言書の活用状況について (4) 神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について
第6回 会議	平成27年 7月21日(火) 15時	教育会館 中会議室	1 議事 (1) 協議テーマ「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」について ① 子どもの居場所づくりに繋がる活動を整理すること ② 横内地区の取り組みから
第7回 会議	平成27年 11月24日 (火) 15時	教育会館 中会議室	1 議事 (1) 協議テーマ「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」について ・報告書(案)についての審議
第8回 会議	平成28年 2月23日(火) 15時	中央公民館 大会議室	1 議事 (1) 協議テーマ「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」について ・報告書(修正案)についての審議

《教育委員との意見交換等》

会議名	日時	会場	内容
教育委員との意見交換会	平成27年 2月20日 (金) 13時20分	豊原分庁舎 1号館2階 教育長室	(1) 意見交換 ・社会教育委員会議の研究テーマの紹介等
教育委員との意見交換会	平成28年 3月30日 (水) 13時30分	豊原分庁舎 1号館2階 教育長室	(1) 意見交換 ・協議テーマ「社会教育における子ども達の生きる力を育む方策」の研究報告について

《神奈川県社会教育委員連絡協議会》

会議名	日時	会場	内容
研修会	平成26年 8月21日 (木) 13時	かながわ 県民センター	テーマ「今、求められている地域での社会教育委員活動」 1. 第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会 における分科会での事例発表に向けて (1) 鎌倉市「社会教育の視点からのまちづくり」 (2) 南足柄市「地域で支える子どもの学びと育ち」 (3) 山北町「家庭の教育力再生へのアプローチ ～家庭に おける読書環境の改善をめざして～」 (4) 川崎市「現代の若者と地域社会のつながり」 ～川崎の社会教育は何ができるか～ (5) 座間市「子ども・若者の社会教育を位置づける —生涯学習社会の充実のために」 (6) まとめ
関ブロ 1日目	平成26年 11月20日 (木) 12時	鎌倉芸術館	スローガン「社会教育がつなぐ ひと、地域、そして未来」 テーマ「今、社会教育にできること、私たちにできること ～ 地域社会に貢献する社会教育委員のすがた～」 (1) 歓迎セレモニー (2) 記念講演「人を育てる 人に育てられる～柔道を通して 学んだこれからの生き方～」 山下泰裕氏（東海大学理事 事・副学長） (3) シンポジウム「今、社会教育委員に求められること～ 活力と魅力あふれる地域をめざして～」 (4) 閉会セレモニー
関ブロ 2日目	平成26年 11月21日 (金) 9時30分	鎌倉芸術 館、あーす ぶらざ、藤 沢市民会 館、国際言 語文化アカ デミア、鎌 倉生涯セン ター	(1) 第1分科会「地域づくりと社会教育の役割」 (2) 第2分科会「子どもの豊かな感性の育成」 (3) 第3分科会「家庭教育支援」 (4) 第4分科会「社会教育施設のあり方」 (5) 第5分科会「社会教育行政への社会教育委員の関わり」 (6) 特別分科会Ⅰ「公募委員の意義と役割」 (7) 特別分科会Ⅱ「社会教育委員の経験の活かし方」

研修会	平成27年 8月27日(木) 13時	かながわ県 民センター	テーマ「私たちがめざすもの、新たなミッションとは？」 1. 話題提供 「全国社会教育委員連合 組織の在り方検討委員会報告書について」 2. パネルディスカッション 「私たちがめざすもの、新たなミッションとは」 ○神奈川県社会教育委員連絡協議会に何を求めるのか？ ○社会教育委員に求められる新たなミッションとは？ 3. まとめ
地区研究会	平成27年 11月25日 (水)	逗子文化プラザホール さざなみホール	テーマ「子どもも大人も共につながり成長していくまち」 人権講話「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」 事例発表Ⅰ 社会教育推進プランの作成 事例発表Ⅱ プランの実現に向けた事例紹介1 世界とつながる市民自治のまちづくり ～フェアトレードタウンをめざして～ 事例発表Ⅲ プランの実現に向けた事例紹介2 子どもも大人も共に繋がり成長していくまち ～プレイリヤカーの活動をとおして～
地区研究会	平成28年 2月19日(金)	真鶴町民センター	テーマ「公民館・図書館・博物館の活動と社会教育委員の役割」 人権講話「高齢者を支え、財産とする地域社会をめざして」 事例発表Ⅰ 「親子野外映画会」、「親子工作教室」 「星の観察会」 事例発表Ⅱ 「七夕の行事を楽しむ会」 「放課後子ども教室(いきいきクラブ)」 事例発表Ⅲ 「博物館のハード面・ソフト面整備」 「博物館事業の多角化・充実化と連携事業」

平成26・27年度 平塚市社会教育委員名簿

	氏名	分野	推薦母体
1	山中 敏代	学校教育関係者	平塚市立小学校長会(吉沢小学校)
2	田邊 裕美	学校教育関係者	平塚市立中学校長会(大野中学校)
3	朝倉 徹	学校教育関係者	東海大学
4	長谷部 清美	社会教育関係者	平塚市PTA連絡協議会(松延小学校PTA会長)
5	川井 達郎	社会教育関係者	平塚市自治会連絡協議会(横内団地連合自治会会長)
6	鈴木 奏到	社会教育関係者	平塚市地域教育力ネットワーク協議会 (横内こどもサポートネットワーク協議会会長)
7	木川 紘治	社会教育関係者	平塚市公民館連絡協議会(豊田公民館長)
8	轡田 絢子	社会教育関係者	平塚市文化連盟(平塚茶道協会会長)
9	高橋 佳久	社会教育関係者	平塚市体育振興連絡協議会 (なでしこ地区体育振興会会長)
10	小原 公一	家庭教育関係者	平塚市民生委員児童委員協議会 (花水地区民生委員児童委員協議会会長)
11	大和田 マイ子	家庭教育関係者	平塚市子ども読書活動推進協議会 (中原中学校区子ども読書活動推進協議会会長)
12	長本 貞光	学識経験者	元小学校校長
13	大橋 千賀子	学識経験者	元小学校校長
14	宇野 努	学識経験者	公募市民委員
15	山田 むつみ	学識経験者	公募市民委員

事務局 平塚市教育委員会 社会教育部 社会教育課

<巻末資料>

「子ども達の生きる力を育むための居場所づくり」
活動一覧

活動名**全市対象 1. 青少年会館 主催事業**

時 期	年間通して40回程度（基本土曜日）
場 所	青少年課
対 象	市内の小・中学生
参 加 費	無料（一部材料費必要）
主な担い手	青少年課
目 的	子どもたちの仲間作りと情操教育に役立てるため、スポーツ、芸術、ボランティア養成講習などの講座を、市内在住の方向けに青少年会館にて実施している。
内 容	①ドッジビー教室（春）4月（秋）10月 基本ルールと、おもしろルールでチーム対抗戦。 ②子ども英語教室（イースター）4月（クリスマス）11月～12月 歌・工作・ゲームなどで英語に親しむ。 ③子ども美術教室（春）5月～7月（秋）10月～12月 デッサン・七宝焼き作成など。 ④バウンドテニス教室 6月 基本的なルールと技術習得。 ⑤読み語り教室 6月 子ども向けの絵本の選び方、読み語りの基本など。 ⑥親子陶芸教室 7月～8月 成形・絵付けを親子で行う。 ⑦親子絵手紙教室 7月 親子で絵手紙の基本的な描き方を習得。 ⑧子ども竹細工教室 7月 竹を使って作品作り。 ⑨花のふれあい教室 3月 鉢の絵付けと市内花農家で収穫体験。

活動名**全市対象 2. 土屋 びわっこクラブ**

時 期	4月から2月年間9回（主に土曜日実施）
場 所	びわ青少年の家
対 象	市内小学4年生～中学生
参 加 費	1,500円
主な担い手	青少年課、ボランティア
目 的	他校や他学年の友だちと交流をしながら年間を通じてびわ地区の豊かな自然を活かして自然体験やクラフト作り、野外炊事などの活動を行う。
内 容	竹筒ごはん作り、竹竿パン作り、ドラム缶風呂、野菜植え付け収穫、野菜の植え付け収穫、キャンドルファイヤー など

活動名 全市対象 3. 自主学習教室

時 期	夏休み6日間程度
場 所	平塚市教育会館
対 象	市内に通う小学生
参 加 費	無料
主な担い手	教育指導課、元教員
目 的	夏休み中の小学生に意欲を持って勉強する習慣を身に付けてもらう。
内 容	初日に学習計画を立て、計画に沿って苦手な単元のおさらいや漢字と計算の基礎学習を進めたり、夏休みの課題作文や宿題など自分で勉強したいものに取り組む。

活動名 全市対象 4. 馬入 水辺の楽校

時 期	土日中心 月2～3回程度
場 所	馬入水域
対 象	市内の小・中学生、一般
参 加 費	年会費個人・家族会員：1口1,500円（1口以上）
主な担い手	馬入水辺の楽校の会
目 的	①子ども達や市民が川の自然とふれあえる場の提供 ②自然観察会等環境学習活動の展開 ③市民参加によるエコアップ活動 ④相模川の「いい川づくり」に関する活動
内 容	馬入水辺の楽校は子ども達や市民が川の自然と楽しく親しめるようにと設けられた。自然環境の保全や復元活動、野鳥観察会、野遊び体験、秋祭りなどで楽しい活動を展開してる。行政、自治会、市民団体の力を合わせて運営している。 ①野遊びいっぱい「秋祭り」 ②ビオトープ講座 ③自然観察入門講座 ④野鳥観察会 ⑤野遊びリーダーによる環境学習支援活動 ⑥エコアップ活動（年16回） ⑦エコミュージアム展

活動名 江陽地区 5. 松原公民館 子ども向け教室

時 期	①毎月第1～3土曜日午後 ②毎月第4土曜日午前 ③毎月第1・2木曜日夜間
場 所	松原公民館
対 象	松原地区の小・中学生
参 加 費	①③無料、②1回150円
主な担い手	松原公民館、公民館利用団体（講師）
目 的	地域の大人と子どもの楽しい交流
内 容	①囲碁教室 ②茶道教室 ③卓球教室

活動名 江陽地区 6. 防災キャンプ

時 期	9月の土日2日間
場 所	崇善小学校校庭、体育館
対 象	崇善小学校児童・江陽中学校生徒・一般
参 加 費	500円（食事代）
主な担い手	父の会、PTA、ひらつか防災まちづくりの会、江陽地域教育力ネットワーク協議会、小学校
目 的	災害体験学習を通じて、防災に関する知識を身につける。
内 容	【1日目】 開会式→防災体験学習（放水車、起震車、給水車など）→防災イベント→夕食（豚汁、非常食用ご飯）→ダンボールハウス作成→片付け、（日帰りの部は解散）→宿泊準備→就寝 【2日目】 起床、ラジオ体操→朝食（パン、牛乳）→防災体験学習（津波DVD、屋上見学）→片付け、解散

活動名 港地区 7. 須賀公民館 子ども卓球教室

時 期	夏休み午前3日間
場 所	須賀公民館
対 象	港地区の小学生
参 加 費	なし
主な担い手	須賀公民館、講師（港地区在住の方）、公民館利用団体
目 的	レベル別に指導を実施し、卓球の技術を学ぶ。 他学年や公民館利用サークルの方と協調して卓球を楽しむ。
内 容	①レベル別の卓球指導 ②レベル別の卓球指導 ③レベル別のゲーム&練習

活動名 港地区 8. 郷土いろはカルタ大会

時 期	1月の日曜日
場 所	港小学校体育館
対 象	港小学校児童、太洋中学校生徒、一般
参 加 費	無料
主な担い手	港地区青少年を守る会
目 的	世代間交流や、子どもたちが郷土愛を育み、礼儀作法を自然習得する。中学生ボランティアは、自分が小学生の時に選手として参加した経験を活かし地域指導者への第一歩となる。
内 容	港小学校の児童を選手とし、地域で手作りした郷土カルタを学年別に取り合う個人競技。予選・準決勝・決勝と進む。読み札は太洋中学校の生徒がボランティア協力で読む。子ども達は、子ども会単位（8単子）ごとに4回程度事前練習を行う。

活動名**港地区 9. 港スポーツクラブ**

時 期	毎週土：18:00～20:00 幼児からシニアまで一般を対象 月、水、金：16:00～17:30 小・中学生を対象とした活動
場 所	港小学校グラウンド、体育館等
対 象	港地区の小中学生・一般
参 加 費	18歳以下3,000円
主な担い手	港スポーツクラブ（地域組織）
目 的	港スポーツクラブは平塚市で最初の総合型地域スポーツクラブとして、平成18年4月より地域で作る、地域の為のスポーツクラブとして、地域各団体、学校関係者が役員となり、港地区在住の幼児からシニア等幅広い年代の方々に種々のスポーツ（運動）を通し健康と活動の場を提供している。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平日スポーツ活動 16:00～17:30月・水・金は小・中学生、火・木は一般 ・土曜日スポーツ活動 18:00～20:00 ・サークル活動 バドミントン（月1回） 土13:00～15:00 ジュニアバレーボール月17:30～19:00 土16:00～18:00 中学生バスケットボール 日17:00～20:00

活動名**港地区 10. みなと子どもの家**

時 期	小・中学校休み日 午前9時から午後5時まで。 その他の日 午前10時から午後5時まで。
場 所	みなと 子どもの家
対 象	港地区に居住する小学生及び中学生、付添人のある幼児
参 加 費	なし
主な担い手	青少年課、地域の見守る人
目 的	子ども達を地域で守り育てようを基本に子ども達が伸び伸び遊び、創造性や連帯感を育み、健やかに成長することを願って建てられた施設。
内 容	木のぬくもりがあるログハウス（丸太小屋）作りになっている。 屋内には、アスレチック施設や遊具などがあり、雨の日も楽しく遊べる。 自主事業として、「化学マジックショー」・「クリスマスグッズ作り」・「あそびの広場」等を開催。その他、事前に登録すれば、放課後直接子どもの家を利用できる。（留守家庭児童登録）

活動名**富士見地区 11. 富士見公民館 卓球教室**

時 期	夏休み午前または午後4日間
場 所	富士見公民館
対 象	富士見地区の小・中学生
参 加 費	①②③なし、④材料費500円
主な担い手	富士見公民館、公民館運営委員、公民館利用団体
目 的	子どもの自主性を養う。また、異学年との交流を図る。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ①②③卓球教室（3回） 卓球の基礎を学ぶ ④陶芸教室（1回） 粘土を捏ねて、作品を成形する

活動名**富士見地区 12. 富士見公民館 子ども囲碁教室**

時 期	月3回土曜日の午前
場 所	富士見公民館
対 象	富士見地区の小・中学生
参 加 費	なし
主な担い手	富士見公民館、公民館運営委員（講師）、平塚市まちづくり財団との共催事業
目 的	囲碁を習得する。また、異学年との交流を図る。
内 容	囲碁教室

活動名**浜岳地区 13. なでしこ公民館 オアシスなでしこ**

時 期	夏休み7日間 午前10時～午後3時
場 所	なでしこ公民館
対 象	なでしこ地区の小学生
参 加 費	なし
主な担い手	なでしこ公民館、福祉村のボランティア
目 的	夏休み期間中の小学生に学習スペースを提供する。
内 容	自習スペースを提供し、学習の習慣を身につけさせる。 地域の元学校の先生がサポートする機会もあった。

活動名**浜岳地区 14. なでしこ公民館 ぷちなでしこ**

時 期	夏休み3日間（準備2日、本番1日）
場 所	なでしこ公民館
対 象	なでしこ地区の小学生
参 加 費	なし
主な担い手	なでしこ公民館、平塚青年会議所、なでしこ地区イベント実行委員会、子ども会育成会
目 的	リアルな「お店屋さんごっこ」を通して、経営者としての立場、消費者の立場を理解する。また、地域の商店、子どもを結び付ける。
内 容	①子どもリーダー会議 ②子どもリーダー会議 ③本番 労働して仮想通貨の収入を得て消費する、というサイクルで楽しみながら社会の仕組みを学ぶ。子どもたちが好きな仕事にチャレンジして、楽しみながら社会の勉強をする。

活動名 浜岳地区 15. なでしこ公民館 子ども囲碁教室

時 期	毎月第1・2・3土曜の午前
場 所	なでしこ公民館
対 象	なでしこ地区の小・中学生
参 加 費	なし
主な担い手	なでしこ公民館、公民館利用団体
目 的	なでしこ公民館で活動しているサークルに、地域の子どもへの囲碁の指導をお願いし、囲碁を親しむきっかけとなるようにする。
内 容	囲碁を学ぶ・親しむ

活動名 浜岳地区 16. なでしこ公民館 BONおどい大会

時 期	夏休み7日間（準備5日、本番2日）
場 所	なでしこ公民館
対 象	なでしこ地区の小学生及び住民
参 加 費	なし
主な担い手	なでしこ公民館、地域の各種団体
目 的	地域交流・小学生高学年のリーダー育成。（小学4～6年生対象） 地域のボランティアの活躍の機会とする。
内 容	①民謡曲の踊りの練習 やぐらの上で踊るためのリーダー育成。 ②ダンス曲のおどりの練習 やぐらの上で踊るためのリーダー育成。 ③本番 地域交流・地域ボランティアを活用し、運営。

活動名 神明地区 17. 八幡公民館 子どもふれあい体験学習

時 期	夏休み午後8日間、午前4日間
場 所	八幡公民館、八幡小学校、神奈川県環境科学センター
対 象	八幡地区の小・中学生及び保護者
参 加 費	材料費300円程度
主な担い手	八幡公民館、やわた子ども村、四之宮公民館
目 的	異年齢の集団活動や地域各種団体、地域在住者との触れ合いを通じて、役割分担や協同意識、地域や文化等への興味・関心を深める。
内 容	①よさこい教室 文化を学び踊りを習得し、異学年の交流を図る。 ②だるま作り（絵付け）教室 だるまの歴史や文化に触れながら、色づけされていないだるまに色塗りや装飾をする。 ③ペットボトルロケットを飛ばそう ロケットの作成・発射。 ④環境科学センター親子見学 環境科学センター内の機材を扱い普段は見られない施設内の見学。

活動名**神明地区 18. 八幡公民館 一日防災体験**

時 期	夏休み1泊2日
場 所	八幡公民館、八幡小学校他
対 象	八幡小学校4・5年生
参 加 費	なし
主な担い手	八幡公民館、公民館運営委員、ママの会、青少年指導員、八幡小学校PTA、消防第9分団、災害対策課他
目 的	地域各種団体とふれあいながら、一泊を通じた集団生活を通じて、防災についての意識や社会的ルール、集団での役割分担、助け合い・協同意識を深める。
内 容	①普通救命・AED講習 ②防災シミュレーションゲーム ③起震車・消火体験 ④夕食づくり ⑤避難所ゲーム ⑥防災グッズの作成（カンテラ）⑦暗闇で就寝準備 ⑧公民館に宿泊 ⑨体操 ⑩非常食を作ってみよう

活動名**神明地区 19. 四之宮公民館 わくわくクラブ**

時 期	夏休み午前5日間
場 所	四之宮公民館、大野小学校グラウンド、環境科学センター、八幡公民館
対 象	四之宮地区の小・中学生及び保護者
参 加 費	①④⑤500円、②⑥無料、③200円（材料費程度）
主な担い手	四之宮公民館、公民館運営委員、地域の各種団体
目 的	ものづくりを体験し、自分の手で作り上げる喜びを感じ、その感性を大切にすることを育むとともに、異なる年齢、地域の人々とのふれあいを図る。
内 容	①だるま創り（絵付け）教室 歴史や文化に触れ、色塗りや装飾をする。 ②環境科学センター親子見学 普段は見られない施設内の見学。 ③風鈴を作ろう 風鈴作り、歌、ゲーム、人権啓発アニメの観賞。 ④陶芸教室 陶芸の自由作品を作る。 ⑤デイキャンプ カマドでカレー作り、カルタ大会、竹細工作り・遊び、流しそうめん。 ⑥ペットボトルロケットを飛ばそう ロケットの作成・発射。

活動名**神明地区 20. 八幡小学校 やわた子ども村**

時 期	通年・主に平日の放課後
場 所	八幡小学校余裕教室他
対 象	八幡小学校の児童
参 加 費	年間登録料一世帯3,000円
主な担い手	やわた子ども村（自治会、社会福祉協議会、商店会、子ども会、PTA、学校等が協力、連携し運営。）
目 的	少子化や核家族化、家庭や地域の教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後や週末等に子どもが安心して活動できる居場所づくりを図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する。
内 容	平日は、卓球、バスケットボール、お花で遊ぼう、絵手紙、南京玉すだれ、囲碁・将棋などの放課後プログラムを日替わりで実施。長期休みでは、親子で参加をキーワードに、海へいこう（船釣り体験）、夕暮れコンサート、ペットボトルロケットづくりなどを実施。

活動名 中原地区 21. 中原公民館 おもしろ理科教室

時 期	夏休みと冬休みの午後2日間
場 所	中原公民館、中原小学校
対 象	中原地区の小学生及び保護者
参 加 費	材料費300円程度
主な担い手	中原公民館、おもしろ理科教室開催委員会（大学研究員、元電気関係技術者、教員OBがメンバー）
目 的	理科離れが叫ばれている中、少しでも理科に興味を持ってもらうため、勉強ではなく実際に物を作ったり、見て感じたりする。
内 容	①紙飛行機を作る 高学年は羽ばたき飛行機を、低学年は紙飛行機をつくり飛ばす。 ②波の伝わり方って不思議だな 水面の波・いろいろな音を見る。手作りの実験器具も使って波の伝わり方を観察する。

活動名 中原地区 22. 中原公民館 囲碁初心者講習会

時 期	夏休み午前4日間
場 所	中原公民館
対 象	中原地区の小学2年生以上・中学生
参 加 費	なし
主な担い手	中原公民館、中原囲碁同好会
目 的	囲碁まちひらつかとして、市としても取り組んでいる中、公民館としても子どもたちに囲碁を少しでも学び親しんでもらう。
内 容	①囲碁の初歩を学ぶ 囲碁とは何か。石の置き方、ルールを学ぶ。 ②～④囲碁の初歩を学ぶ 石の置き方を学ぶ。

活動名 中原地区 23. 中原公民館 夏休み体験教室

時 期	夏休み午前または午前午後の5日間
場 所	中原公民館
対 象	中原地区の小学生及び保護者
参 加 費	材料費（①500円、②200円、③200円、④300円、⑤500円）
主な担い手	中原公民館、公民館運営委員、公民館利用団体、地域の方々
目 的	成長期に様々な体験をすることにより、幅広く色々なことに興味を持ち、人間性を高め、保護者を含め様々な人との触れ合いを通じて豊かな人格の形成と参加者相互の交流を図る。
内 容	①料理教室 ピザ、フルーツポンチを調理し、料理の楽しさ、大変さを学ぶ。 ②茶道教室 茶道を通じて、礼儀・作法等を学ぶ。 ③竹細工&流しそうめん 竹の流しそうめん用の器、箸、カスタネットの作成及び流しそうめんの体験。 ④ビーズ教室 ビーズのネックレスを作成し、ビーズ細工の楽しさを味わうと共に、最後まで諦めないことを学ぶ。 ⑤陶芸教室 陶芸作品を手びねりで自分自身でつくる楽しさを学ぶ。

活動名 中原地区 24. 南原公民館 夏休み寺子屋

時 期	夏休み午前4日間
場 所	南原公民館
対 象	南原地区の小学生
参 加 費	なし。
主な担い手	南原公民館、公民館長（講師）、公民館利用団体（講師）、南原小学校図書ボランティア（講師）
目 的	南原地区の子どもたちにさまざまな体験をさせる。 子どもたちに会場準備、片づけを行わせ自主性を育てる。 継続的な学習機会をつくる。
内 容	①毛筆 ②お話し会 ③農園体験 ④修了式

活動名 中原地区 25. 南原公民館 子どもの楽校「親子野菜づくり体験」

時 期	年間11回シリーズで、土曜の午前実施
場 所	南原公民館農園
対 象	南原地区の親子
参 加 費	料理体験の際には参加費100円程度
主な担い手	南原公民館（公民館長が講師）
目 的	畑での野菜づくり、料理等を通じて、農作物や食を大切に作る心を育む。
内 容	親子野菜づくり体験 ①ゴーヤ、朝顔の種植え ②ゴーヤ、朝顔の苗植え ③ナス、トマト、ゴーヤ、朝顔の手入れ ④ナス、トマトの手入れ ⑤白菜、キャベツの種蒔きナス、トマト、ピーマンの収穫 ⑥白菜、キャベツの苗植え ⑦小松菜、水菜、大根の種蒔き ⑧玉ねぎの植付け ⑨白菜、キャベツ、ブロッコリーの収穫白菜と豚バラの鍋作り ⑩スナックエンドウの種蒔き ⑪ジャガイモの植付け

活動名 中原地区 26. 南原公民館 夏休み子ども教室

時 期	夏休み午前2日間
場 所	南原公民館
対 象	南原地区の小学生
参 加 費	材料費として実費（①200円、②120円）
主な担い手	南原公民館（公民館利用団体、南原保育園の元園長が講師）と小学校の共催事業
目 的	子どもたちにさまざまな体験をさせる。 公民館で活動している団体の人たちとのふれあい。
内 容	①料理教室 パンケーキ、ミネストローネ、フルーツゼリー ②お菓子づくり教室 マドレーヌ、マシュマロアイス

活動名**中原地区 27. 大原公民館 子ども囲碁教室**

時 期	毎月3回土曜日午前
場 所	大原公民館
対 象	大原地区の小・中学生
参 加 費	会費年1,200円
主な担い手	松が丘公民館、公民館利用団体、平塚市まちづくり財団
目 的	初めて囲碁に触れる子どもから、ある程度の力を持つ子どもまで、一緒の空間で学ぶことで、囲碁のルールを覚えて早く対局を楽しめるレベルまで達し、さらに級位認定の目標なども持って継続して囲碁を楽しむようになる。
内 容	囲碁の基本的なルールを学び対局が打てるようにする。

活動名**中原地区 28. 大原公民館 夏休みものづくり体験「大原手づくりごっこ」**

時 期	夏休み午前3日間
場 所	大原公民館
対 象	大原小学校児童
参 加 費	参加費程度 (①500円 ②300円 ③100円)
主な担い手	大原公民館、公民館利用団体
目 的	ものづくりを体験し、自分の手で完成させる達成感を味わう。完成したものに対して愛着がわき、大事にしようとする心をもってもらう。
内 容	①陶芸 手びねりで土をこね自由な作品をつくり、釉薬の色を決め、講師が焼き上げる。 ②ビーズアクセサリー作り ビーズ細工でネックレスを作成する。 ③遊べる折り紙 こま、ねずみ、紙飛行機の3つを折り紙で作成。

活動名**大野地区 29. 真土子どもチャレンジスクール**

時 期	夏休み午前3日間
場 所	真土小学校校庭、渋田川流域
対 象	真土地区の小学生
参 加 費	なし
主な担い手	大野公民館、公民館運営委員、地域の各種団体
目 的	夏休み期間中に、子どもたちの好奇心を高めるため、興味を持つことができる講座を実施する。
内 容	①竹細工作りと流しそうめん 竹を使用した工作と流しそうめん。 ②ペタンクに挑戦 地上のカーリングと言われるペタンクのルールを学び、競技を行う。 ③渋田川の自然を調べて川と友達になろう 渋田川の自然観察や水質を調べて、河川環境の変化を学ぶ。

活動名**大野地区 30. 松が丘公民館 サマースクール**

時 期	夏休み午前7日間
場 所	松が丘公民館
対 象	松が丘地区の小・中学生、幼児
参 加 費	材料費程度 (②50円 ③300円 ④500円)
主な担い手	松が丘公民館、公民館運営委員、地域の各種団体
目 的	学校教育と異なった集団活動による体験学習を通して、協調性・自主性を養う。
内 容	①おはなし会 本の読み聞かせ。 ②折り紙教室 八咫烏を折り紙で作り、卓上カレンダーに貼る。 ③料理教室 ロールサンド、オール野菜スープ、杏仁豆腐を作る。 ④陶芸教室 題材は自由で、各自好きなものを作成。 ⑤卓球教室 基本技術の練習。 ⑥卓球教室 試合形式。 ⑦化学マジックショー 実験を通して化学を面白く教える。

活動名**大野地区 31. 松が丘公民館 こども囲碁教室**

時 期	毎月3～4回土曜日の午前
場 所	松が丘公民館
対 象	松が丘地区の小・中学生・住民
参 加 費	なし
主な担い手	松が丘公民館、松が丘囲碁クラブ
目 的	囲碁に触れる場を作り、関心を高める。
内 容	囲碁の基礎を学び、対局する。

活動名**大野地区 32. 豊田公民館 夏休みわんぱく教室**

時 期	夏休み午前2日間、夜間1日間
場 所	豊田公民館、豊田小学校
対 象	豊田地区の小学生
参 加 費	②のみ材料費600円
主な担い手	豊田公民館、公民館運営委員、湘央建設組合豊田支部、博物館職員
目 的	小学生の夏休み期間中に、星の観察会、模型飛行機、木工教室を行い、夏休みの思い出づくりと共に地域間交流を図る。
内 容	①星の観察会 夏の夜空を観察する ②ライトプレーン(模型飛行機)を飛ばそう! 模型飛行機を作成し飛行させる。 ③木工教室 道具の使い方を学びながら木工作品を作る。

活動名**大野地区 33. 豊田公民館 とよだチャレンジファーム**

時 期	土曜日の午前3日間
場 所	豊田公民館及び豊田地区
対 象	豊田地区の小学生・保護者
参 加 費	材料費1家族300円
主な担い手	豊田公民館、地域の講師
目 的	作物の苗うえから、手入れ、収穫までを体験し、食物の生長と大切さを学ぶ。
内 容	①苗植え サツマイモの苗を植える。 ②つる返し ちいき情報局で、苗うえからの生長記録を観ながら振り返りを行い、つる返しと雑草取りをおこなう。 ③収穫 サツマイモの収穫。

活動名**大野地区 34. 大野子どもの家**

時 期	小・中学校休み日 午前9時から午後5時まで。 その他の日 午前10時から午後5時まで。
場 所	大野 子どもの家
対 象	大野地区に居住する小学生及び中学生、付添人のある幼児。
参 加 費	なし
主な担い手	青少年課、地域の見守る人
目 的	子ども達を地域で守り育てようを基本に子ども達が伸び伸び遊び、創造性や連帯感を育み、健やかに成長することを願って建てられた施設。
内 容	木のぬくもりがあるログハウス（丸太小屋）作りになっている。 屋内には、アスレチック施設や遊具などがあり、雨の日も楽しく遊べる。 自主事業として、「化学マジックショー」・「クリスマスグッズ作り」・「あそびの広場」等を開催。その他、事前に登録すれば、放課後直接子どもの家を利用できる。（留守家庭児童登録）

活動名**大野地区 35. 松が丘福祉村
ゆうゆう字書き教室、ゆうゆう物づくり教室**

時 期	①第1～3土曜日の午前中 ②第2土曜日の午前中
場 所	市営東中原住宅敷地内
対 象	松が丘小学校児童
参 加 費	（材料費）
主な担い手	松が丘福祉村
目 的	勉強することの楽しさや、人と人との関わりの大切さを学び次世代を担う子ども達を学校、地域、家庭が連携の上見守り育てていくこと。
内 容	①字書き教室（習字） ボランティアによる書道教室 ②ゆうゆう物づくり教室 身近な材料を使って遊び道具の作成

活動名 神田地区 36. 神田公民館 夏休み子どもチャレンジ

時 期	夏休み午前または午後8日間
場 所	神田公民館
対 象	神田地区の小・中学生及び保護者
参 加 費	①②なし ③650円 ④300円（材料費程度）
主な担い手	神田公民館、公民館利用団体、地域の職人
目 的	夏休みを利用して、異なる世代との交流を図りながら技術の習得も図る。
内 容	①卓球教室（4日間） ②ファミリーバドミントン教室（2日間） ③模型飛行機づくり（1日）④親子で和菓子づくりに挑戦！（1日）

活動名 横内地区 37. 芸術文化子ども体験教室(生け花)

時 期	冬土曜日午後3日間
場 所	横内公民館
対 象	横内地区の小・中学生
参 加 費	材料費500円程度
主な担い手	横内こどもサポートネット協議会、文化連盟、横内公民館、社会教育課
目 的	次世代を担う子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史、伝統、芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む。
内 容	【生け花】公民館まつりの展示発表に向けて生け花を学ぶ。

活動名 横内地区 38. 芸術文化子ども体験教室(琴)

時 期	冬土曜日午後5日間
場 所	横内公民館
対 象	横内地区の小・中学生
参 加 費	なし
主な担い手	横内こどもサポートネット協議会、文化連盟、横内公民館、社会教育課
目 的	次世代を担う子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史、伝統、芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む。
内 容	【お琴】公民館まつりの芸能発表に向けてお琴の演奏の仕方を学ぶ。

活動名 横内地区 39. ふれあいキャンプ

時 期	8月の土日2日間
場 所	足柄ふれあいの村他
対 象	横内小・中学生
参 加 費	参加費あり
主な担い手	横内こどもサポートネット協議会、社会福祉協議会、PTA、青少年指導員連絡協議会、子ども会育成会
目 的	一泊二日の共同生活を通して、学年を超えた仲間や地域の人たちとのふれあいと助け合い、思いやりの心を育て、また、あいさつ、助け合い・信頼・思いやりの心を身につけ、自立心、協調性、責任感（リーダーシップ）を養うことを目的とする。
内 容	1泊2日で「足柄ふれあいの村」に行った。 【1日目】（雨天）室内ゲーム、カレー作り、キャンプファイヤー 【2日目】様々なアスレチック（小田原わんぱくランド）

活動名 横内地区 40. マイタウンスクールの開催

時 期	通年土日
場 所	横内小・中学校、横内公民館他
対 象	横内小・中学生
参 加 費	無料（材料費程度あり）
主な担い手	横内こどもサポートネット協議会
目 的	地域の指導者により、文化系、体育系のスクールを開催し、子どもたちが参加することにより、個人の技術や資質の向上をはかる。
内 容	講師、指導者は、地区のボランティアの方々や保護者が行っており、世代間交流の場で、様々な体験・経験が行われている。 ・陸上 月4回。大塚山公園で活動。 ・ハイキング 年2回。5月は江の島、11月は横須賀方面。 ・ジュニアバンド 月1～数回。地区の色々な行事で演奏。 ・和太鼓 月1回。湘南和太鼓「絆」のメンバーとの演奏も行う。 ・茶の湯 月1回。 ・フラワー教室 年2回。保護者参加も多い。

活動名 横内地区 41. 横内子どもの家

時 期	小・中学校休み日 午前9時から午後5時まで。 その他の日 午前10時から午後5時まで。
場 所	横内 子どもの家
対 象	横内地区に居住する小学生及び中学生、付添人のある幼児。
参 加 費	なし
主な担い手	青少年課、地域の見守る人
目 的	子ども達を地域で守り育てようを基本に子ども達が伸び伸び遊び、創造性や連帯感を育み、健やかに成長することを願って建てられた施設。
内 容	木のぬくもりがあるログハウス（丸太小屋）作りになっている。屋内には、アスレチック施設や遊具などがあり、雨の日も楽しく遊べる。自主事業として、「化学マジックショー」・「クリスマスグッズ作り」・「あそびの広場」等を開催。その他、事前に登録すれば、放課後直接子どもの家を利用できる。（留守家庭児童登録）

活動名**おおすみ地区 42. 城島公民館 サマー教室**

時 期	夏休み7日間
場 所	城島公民館
対 象	城島小学校の児童
参 加 費	材料費程度（①②⑥300円③50円④100円⑤100円⑦700円）
主な担い手	城島公民館、公民館利用団体、地域のボランティア
目 的	各種体験教室に自主的に参加し、創意工夫した作品をつくる。インターネットやテレビゲーム等の遊びが中心となり、直接ものに触れ創作する機会が減少する中、時間的に余裕のある夏休みに、体験教室を開催する。
内 容	①②料理教室 ドライカレー、ミネストローネ、フルーツポンチ ③ポストカード教室 オリジナルポストカードの作成 ④トールペイント教室 ネームプレートの作成 ⑤勾玉教室 勾玉づくり ⑥手芸教室 サマーバッグ ⑦陶芸教室 マグカップ

活動名**おおすみ地区 43. 岡崎福祉村 ピ/キオ**

時 期	毎週土曜日の午前中（ただし第5土曜日を除く）
場 所	おかざき鈴の里（岡崎福祉村内）
対 象	岡崎小学校児童
参 加 費	300円/月（資料代）
主な担い手	岡崎福祉村（元校長、企業OB等が講師）
目 的	勉強することの楽しさや、人と人との関わり大切さを学び次世代を担う子ども達を学校、地域、家庭が連携の上見守り育てていくこと。
内 容	①年間行事 各学年を各々の講師が手分けして受け持ち、普段は国語、算数を中心に、学校で使われる教科書に添った問題を勉強する。 ②季節の行事 新入生歓迎会、夏のソーメン流し・スイカ割、秋の理科実験、クリスマス会、鏡開き・書初め、朗読会・送別会

活動名**金目 44. 夏休み子ども囲碁教室**

時 期	夏休み午前3日間
場 所	金目公民館
対 象	金目地区の小・中学生
参 加 費	なし
主な担い手	金目公民館、公民館運営委員、公民館活動団体
目 的	囲碁の基本を学ぶと共に、異年代の子供たちの交流を図り、青少年の健全育成に役立たせる。
内 容	囲碁教室 囲碁入門と実践。

活動名**金目地区 45. 金目公民館 エコミュージアム金目まるごと博物館共催子ども向け事業**

時 期	①5月土曜日夜間、②6月土曜日午前、③7月土曜日午前、④10月平日午前、⑤11月日曜日午前
場 所	金目公民館、金目地区
対 象	幼児・小学生と保護者
参 加 費	①④⑤無料、②300円（材料費）③400円（材料費）
主な担い手	金目公民館、エコミュージアム金目まるごと博物館
目 的	①ホタルの生態について学ぶことを通して、自然の大切さを学ぶ ②竹馬、竹トンボなどの竹細工を通じて親子の触れ合いを図るとともに、自然の大切さについて学ぶ ③地域の歴史文化に触れる ④金目地区の歴史、自然について学ぶ ⑤どんぐり工作を通じて身近な自然に関心を持ってもらう
内 容	①親子ホタル観察会 ホタルの生態について学習と観察会。 ②竹の子まつり 竹馬、紙鉄砲などで遊ぶ、竹トンボ、竹の箸を作成、竹の子ごはんを食べる。 ③子ども夏まつり お話会、言葉遊び・俳句について、風鈴作り、流しそうめん。 ④子どもかなひ塾 もっと知ろう！親子ツアー！ 金目地区の歴史、自然巡り。 ⑤どんぐり工作 どんぐりについての解説、どんぐり工作。

活動名**金目地区 46. こどもひろば(コスモスまつり、サツマイモ収穫)**

時 期	6月から10月の3日間
場 所	金目公民館北側の畑
対 象	金目地区の小学生・園児
参 加 費	無料
主な担い手	金目中学校区地域教育力ネットワーク協議会、金目公民館
目 的	児童・幼児の相互交流、親子のふれあいの機会の提供。
内 容	・さつまいもの苗植えの準備（土ならし、マルチかけ）・苗植え、肥料散布 ・つるかえし、除草 ・コスモスまつり（コスモス摘みと科学実験、お話会） ・さつまいものつる切り ・さつまいも掘り（収穫）

活動名**金目地区 47. ナイトウォーク**

時 期	7月2日間（夜から朝にかけて）
場 所	小田原駅から金目中学校
対 象	金目地区の中学生
参 加 費	なし
主な担い手	金目中学校区地域教育力ネットワーク協議会、金目体育振興会、金目中PTA、金目青少年指導員、みずほ青少年指導員
目 的	中学生の仲間意識やチャレンジ精神を培うとともに、生きる力や思いやりの心を育てる機会とする。
内 容	小田原ー中学校間28kmを夜間に歩破小田原駅を夜11時に出発。国道1号線を、JR国府津駅、二宮駅、大磯駅でトイレ休憩および夜食休憩を取りながら歩き続け、翌朝5：30～6：50頃には金目川サイクリングコースを歩き、7：20分頃に金目中学校に帰ってくる。

活動名**金目地区 48. 通学合宿**

時 期	11月連続3日間
場 所	金目公民館
対 象	金目小学校・みずほ小学校4～6年生
参 加 費	米3合と3000円
主な担い手	金目中学校区地域教育ネットワーク協議会、平塚市教育委員会、金目公民館、平塚友の会
目 的	公民館から小学校に通うという2泊3日の生活体験をすることで、小学生の社会性、自主性、協調性をのばし、生きる力や思いやりの心を育てる。
内 容	【1日目】 入館式、オリエンテーション、みんな友達（ゲーム、スポーツ）→金目を知ろう→買出し、夕食準備／自主活動→夕食、懇談、片付け→もらい湯、就寝、消灯 【2日目】 起床、朝食準備／清掃、朝食、集団登校→下校後、自由学習、おやつ→買出し夕食準備／自主活動→夕食、懇談、片付け→もらい湯、就寝、消灯 【3日目】 起床、朝食準備／清掃、朝食、集団登校→下校後、自由学習、おやつ→買出し夕食準備／自主活動→夕食、懇談、片付け、解散

活動名**金旭地区 49. 金田公民館 遊びの学校**

時 期	夏休み午前・または午前午後の4日間
場 所	金田公民館、金田小学校、金田地区各自治会館
対 象	金田地区の小・中学生
参 加 費	材料費程度（②200円④500円）
主な担い手	金田公民館・公民館運営委員・公民館利用団体
目 的	遊びを通じて、異なる年齢の集団活動、地域の人々とのふれあい等の体験学習を行う。楽しい夏休みの思い出と家庭での話題づくりや実学に結びつくものとして教室を開講する。
内 容	①ニュースポーツ体験・囲碁ボール 囲碁ボールの体験と実践。 ②季節感を味わう 流しそうめんの体験。 ③防災教室 火災・地震等防災講話と応急手当講習。 ④防災シュミレーション 備蓄倉庫備品の活用法など。

活動名**金旭地区 50. 旭北公民館 子どもチャレンジ講座**

時 期	夏休み午前・午後2日間
場 所	旭北公民館
対 象	旭地区の小・中学生
参 加 費	材料費①500円、③300円
主な担い手	旭北公民館、公民館運営委員、地域の方
目 的	講師に地域人材を活用した各種体験講座を開講し、地域内の子どもたちに参加してもらうことで、子どもの体験学習を促進するとともに地域人材の活用促進を図る。
内 容	①プリザーブドフラワーづくり（小中学生向け） ②ニュースポーツ体験 ユニカール、囲碁ボールの体験。（小学生） ③オリジナルTシャツづくり ステンシル技法を用いた体験（小学生） ④立体紙飛行機づくり（小学生）

活動名 金旭地区 51. 大山ナイトハイク

時 期	7月2日間（夜から朝にかけて）
場 所	金旭中学校から大山山頂
対 象	金旭中学校の生徒
参 加 費	1,000円
主な担い手	金旭中学校区地域教育力ネットワーク協議会、体育振興会等
目 的	郷土に対する関心や愛着を高め、金旭中学生と地域、学校との交流を図ると共に、生徒の精神と肉体の鍛錬を行う。
内 容	金旭中学校から大山山頂を目指す。

活動名 土沢地区 52. 土屋公民館 菊づくり

時 期	5月から10月の午後6日間
場 所	土屋小学校
対 象	土屋小4、5年生（4年生はざる菊、5年生は1本か3本仕立てを選択）
参 加 費	なし
主な担い手	土屋公民館、土屋小学校、土屋菊づくり愛好会
目 的	菊という自然の教材を通して、自然の素晴らしさ、生命の尊さ、責任感を養う。また、菊づくりを通して、地域の方々との交流を図る。
内 容	①菊苗の挿し芽（5年） 土づくりと苗床への挿し芽。 ②小鉢上げ（5年） 苗床から小鉢への移植。 ③ざる菊作り（4年）、定植（5年） ④支柱立て（5年） 菊を固定する。夏休み中の管理方法について指導。 ⑤芽かき（5年） 花を咲かせる芽を選別し、不要な芽を取る。 ⑥輪台付け（5年）、名札付け（4、5年）

活動名 土沢地区 53. 土屋公民館 夏休み子ども教室

時 期	夏休み午前または午後5日間
場 所	土屋公民館、座禅川碁打橋付近
対 象	土屋地区の小・中学生
参 加 費	①②⑤無料、③100円、④300円（材料費程度）
主な担い手	土屋公民館、公民館運営委員、地域の方、神奈川県環境科学センター講師、金目川水系流域ネットワーク会員、東海大学職員と学生等
目 的	夏休みに様々なプログラムを子ども達へ提供する。
内 容	①子ども卓球教室 ②わくわく生き物観察会 座禅川に生息するいろいろな生き物を網で捕まえ、講師が解説。金目地区の小学生も参加。 ③流しそうめん大会&映画鑑賞会 土屋の長い真竹を使った台で流しそうめんを体験後、交通安全に関する講話と映画鑑賞。 ④ビーズでネックレスを作ろう オリジナルのネックレスを作成。 ⑤子ども魚釣り体験 座禅川碁打橋付近で魚釣りを体験。

活動名**土沢地区 54. 吉沢公民館 吉沢に泊まろう！**

時 期	夏休み2日間
場 所	吉沢公民館、神奈川大学等
対 象	吉沢地区の小学4～6年生
参 加 費	材料費等2,000円
主な担い手	吉沢公民館、土沢盛上げ隊（神奈川大学平塚地区BBS会）、神奈川大学、吉沢小、土沢中ボランティア、自治会連合会、ママの会すいかグループ、その他地域の方々
目 的	吉沢地区の地域に大学を有する「地の利」を活かして、地域社会への興味・関心を持つ学生の力+地域資源（自然・歴史・文化等）や地域の方々の温かさを活用し、吉沢地区の児童・生徒の地域へ対する愛着を高めるとともに、知的好奇心や探究心を育成し、将来の地域の担い手として意識向上を図る。
内 容	【1日目】 吉沢の歴史を学ぶ（吉沢散策、昔遊び体験）→夕食作り（吉沢の食材を使った食事作り）夕食・懇談・片付け→ナイトウォーキング「吉沢の地獄めぐり」→もらい湯→消灯 【2日目】 起床・ラジオ体操→朝食作り（吉沢の食材を使った食事作り）・朝食・懇談・片付け・清掃→神奈川大学・大学生体験→振り返り・閉講式

活動名**土沢地区 55. 吉沢寺子屋**

時 期	毎月2回（第2月曜日の放課後、第4土曜日の午前中 年間25回程度）
場 所	吉沢公民館
対 象	吉沢小学校児童
参 加 費	1か月1,700円（大学生の交通費、資料代、飲み物・お菓子等）
主な担い手	神奈川大学平塚BBS会の学生、福祉村、吉沢公民館、湘南NPOサポートセンター、地域の方々
目 的	①地域の中で子どもたちを見守りながら、健全な人間形成を育む仕組みを構築する ②放課後の学習支援 ③地域内の防犯体制の仕組みづくり ④異世代間交流 ⑤休日・長期休暇の子どもたちの学習支援及び遊びの支援 ⑥青少年健全育成として遊びの中から社会のルールを学ばせる
内 容	①勉強 ②遊び 先生役となる神奈川大の学生は、児童の教えて欲しい宿題や問題集をはじめ、事前に用意した「100マス計算」の問題などを一緒に解く。「集中力が持つように、小学校と同じにした」という授業時間は45分程度。終わった後はスポーツやレクリエーションで、子供たちと遊ぶ時間を設けている。

活動名**山城地区 56. 旭南公民館 夏休みの教室**

時 期	夏休み午前4日間
場 所	旭南公民館
対 象	旭南地区の小・中学生及び保護者
参 加 費	①～④無料、⑤500円（材料費程度）
主な担い手	旭南公民館、公民館運営委委員、公民館利用団体など
目 的	①読み聞かせの方法を学ぶと共に中学生の地域参加のきっかけを作る ②長いす、モザイクタイル、泥だんご等の作成を通じ、職業体験をする ③卓球の技術とあいさつを学ぶ ④実験を通じ、「なぜ?どうして?」という科学への関心を持つきっかけづくり ⑤石を削ってのはんこ作りを通じ、刃物の使い方を学ぶ
内 容	①読み聞かせ講座 ②親子工作教室 ③卓球教室 ④親子科学教室 ⑤はんこづくり教室

活動名**山城地区 57. 山城子ども家**

時 期	小・中学校休み日 午前9時から午後5時まで。 その他の日 午前10時から午後5時まで。
場 所	山城 子ども家
対 象	山城地区に居住する小学生及び中学生、付添人のある幼児。
参 加 費	なし
主な担い手	青少年課、地域の見守る人
目 的	子ども達を地域で守り育てようを基本に子ども達が伸び伸び遊び、創造性や連帯感を育み、健やかに成長することを願って建てられた施設。
内 容	木のぬくもりがあるログハウス（丸太小屋）作りになっている。屋内には、アスレチック施設や遊具などがあり、雨の日も楽しく遊べる。自主事業として、「化学マジックショー」・「クリスマスグッズ作り」・「あそびの広場」等を開催。その他、事前に登録すれば、放課後直接子ども家を利用できる。（留守家庭児童登録）

活動名**旭陵地区 58. 防災避難一泊キャンプ**

時 期	7月の土日2日間
場 所	旭小学校
対 象	旭小学校児童。保護者
参 加 費	100円
主な担い手	旭陵地区教育力ネットワーク協議会、自治会、PTA、青少年指導員協議会、社会福祉協議会
目 的	①防災避難時の疑似体験をする。②防災避難拠点としての学校の機能を確認する。 ③人と人とのふれあい活動を促進し、地域力を強化する。
内 容	【1日目】 防災体験（起震車体験、バケツリレー、応急手当・防災ゲーム、放水体験、水消火器）→防災訓練（シェイクアウト）→夕飯作り（カレーライス）→グループ活動→体育館での宿泊（段ボールでプライベートスペース作り、本の読み聞かせ）→消灯→中学生ボランティア反省会 【2日目】 起床、ラジオ体操→朝ご飯→後片付け、清掃、解散

活動名**旭陵地区 59. 公所自治会子ども育成部**

時 期	夏休み2日間程度
場 所	公所自治会館、びわ青少年の家
対 象	公所地区の小学生
参 加 費	無料
主な担い手	公所自治会子ども育成部（自治会の体協、元単位子ども会の役員、退職小・中・高教諭などで組織）
目 的	公所地区の子ども会がなくなったことに伴い、公所自治会の中に子ども育成部を創設し、子ども達が地域の中で様々な活動や体験を通して自分の世界をたくましく広げられるようにする。
内 容	① こども無名塾教室(1日) 夏休みの宿題・自由研究や普段の学習でわからないところを持ち寄り、育成部サポーターと現・元教員が指導する。 ② 夏休みディキャンプ(1日) 集合→青少年の家→オリエンテーション→アスレチック、伝承あそび→カレーライスづくり・パーティー→スイカわり大会→帰宅

平塚市内子どもの居場所づくり・生きる力を育むための活動

★活動別

体験活動

1. 青少年会館 主催事業（全市・青少年課）	2. びわっこクラブ（全市・青少年課）	4. 水辺の楽校（全市・その他）	5. 子ども向け教室（江陽・公民館）
6. 防災キャンプ（江陽・ネット）	7. 子ども卓球教室（港・公民館）	8. 郷土いろはカルタ大会（港・ネット）	9. 港スポーツクラブ（港・その他）
10. みなと子どもの家（港・青少年課）	11. 卓球教室（富士見・公民館）	12. 子ども囲碁教室（富士見・公民館）	14. ぷちなでしこ（浜岳・公民館）
15. 子ども囲碁教室（浜岳・公民館）	16. BONおどり大会（浜岳・公民館）	17. 子どもふれあい体験学習（神明・公民館）	18. 一日防災体験（神明・公民館）
19. わくわくクラブ（神明・公民館）	20. やわた子ども村（神明・その他）	21. おもしろ理科教室（中原・公民館）	22. 囲碁初心者講習会（中原・公民館）
23. 夏休み体験教室（中原・公民館）	24. 夏休み寺子屋（中原・公民館）	25. 子どもの楽校（中原・公民館）	26. 夏休み子ども教室（中原・公民館）
27. 子ども囲碁教室（中原・公民館）	28. 大原てづくりごっこ（中原・公民館）	29. 真土子どもチャレンジスクール（大野・公民館）	30. サマースクール（大野・公民館）
31. こども囲碁教室（大野・公民館）	32. 夏休みわんぱく教室（大野・公民館）	33. とよだチャレンジファーム（大野・公民館）	34. 大野子どもの家（大野・その他）
35. ゆうゆう字書き・物づくり教室（大野・その他）	36. 夏休み子どもチャレンジ（神田・公民館）	37. 芸術文化子ども体験教室【生け花】（横内・公民館、ネット）	38. 芸術文化子ども体験教室【お琴】（横内・公民館、ネット）
39. ふれあいキャンプ（横内・ネット）	40. マイタウンスクール（横内・その他）	41. 横内子どもの家（横内・青少年課）	42. サマー教室（おおすみ・公民館）
43. 岡崎福祉村ピノキオ（おおすみ・その他）	44. 夏休み子ども囲碁教室（金目・公民館）	45. 子ども向け事業（金目・公民館、その他）	46. こどもひろば（金目・ネット）
47. ナイトウォーク（金目・ネット）	48. 通学合宿（金目・ネット）	49. 遊びの楽校（金旭・公民館）	50. 子どもチャレンジ講座（金旭・公民館）
51. 大山ナイトハイク（金旭・ネット）	52. 菊づくり（土沢・公民館）	53. 夏休み子ども教室（土沢・公民館）	54. 吉沢に泊まろう！（土沢・公民館）
55. 吉沢寺子屋（土沢・その他）	56. 夏休みの教室（山城・公民館）	57. 山城子どもの家（山城・その他）	58. 防災避難一泊キャンプ（旭陵・ネット）
59. 公所自治会子ども育成部			

学習支援活動

3. 自主学习教室（全市・教育指導課）	13. オアシスなでしこ（浜岳・公民館）	21. おもしろ理科教室（中原・公民館）	43. 岡崎福祉村ピノキオ（おおすみ・その他）
45. 子ども向け事業（金目・公民館、その他）	55. 吉沢寺子屋（土沢・その他）	59. 公所自治会子ども育成部	

居場所

2. びわっこクラブ（全市・その他）	4. 水辺の楽校（全市・その他）	9. 港スポーツクラブ（港・その他）	10. みなと子どもの家（港・その他）
20. やわた子ども村（神明・その他）	34. 大野子どもの家（大野・その他）	35. ゆうゆう字書き・物づくり教室（大野・その他）	40. マイタウンスクール（横内・その他）
41. 横内子どもの家（横内・その他）	43. 岡崎福祉村ピノキオ（おおすみ・その他）	45. 子ども向け事業（金目・公民館、その他）	55. 吉沢寺子屋（土沢・その他）
57. 山城子どもの家（山城・その他）			

子どもの居場所紹介・地区別

放課後や週末等の子どものための適切な遊びや様々なかたちで学びの場を提供しています。地域の方々の主体的な参画を得ながら、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進しています。

学・・・学習支援活動 体・・・体験活動 文・・・文化活動

